

「レバー式ハイバック座椅子」取扱説明書

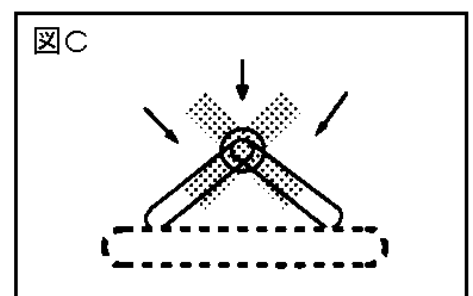
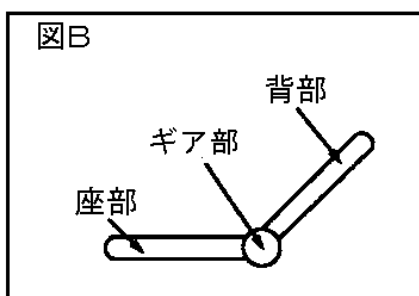
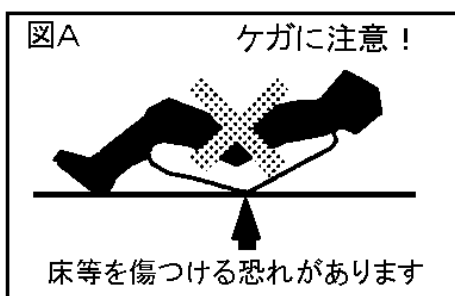
この度は「レバー式ハイバック座椅子」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は大切に保管し、必要なおきにお読みください。

～ ご使用前に ～

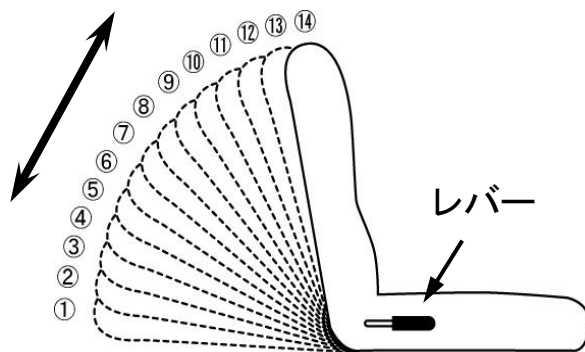
この商品は、使用していますウレタンフォーム、接着剤によりにおいを感じる場合があります。
その場合は十分に換気をしてください。または、風通しの良いところで陰干ししてください。
徐々ににおいは弱くなります。

【使用上のご注意】

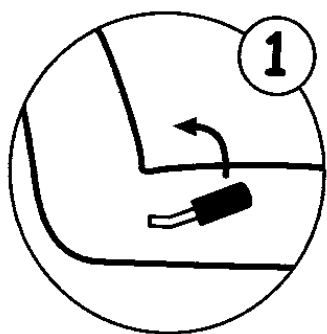
- ・側地カバーは洗濯できません。ファスナーは製造都合のものなので、開けないでください。
- ・側地カバーが片寄ったときには、座椅子を平らな状態にして、側地カバーを整えてください。
- ・座椅子の目的以外に使用しないでください。また、座椅子の座面以外の部分に座るのは絶対におやめください。
- ・座椅子の座面、背の各部には絶対に立ち上がらないでください。転倒し、ケガや器具の破損原因になります。
- ・座椅子の上に乗ったり、飛び跳ねたりしないでください。転倒し、ケガや器具の破損原因になります。
- ・座椅子の背もたれを後方に傾けるような座り方はお避けください。転倒やケガ、器具の破損原因になります。(図A)
- ・同時に二人以上で使用しないでください。
- ・座椅子の背もたれに極端に体重をかけたり、シーソーのように使用したりしないでください。
転倒したり、床面を傷つけたり、ケガや器具の破損原因になります。(図A)
- ・乳幼児の一人での使用はお避けください。窒息やケガの原因になります。
- ・床面の平らなところで水平になるように使用してください。ガタツキ、転倒、変形の防止になります。
- ・高温多湿のところでのご使用はお避けください。カビやダニの発生の原因になります。
- ・直射日光の当たるところや、冷暖房機器の吹き出し風の当たるところ、器具の近くでのご使用はお避けください。
変色、劣化の原因になります。
- ・床面がフローリングや畳で使用する場合、ジュタンやカーペット等の敷物を敷いてください。
床面や畳のキズ防止になります。
- ・座ったままの状態ではひきずらないでください。床面を傷つける原因になります。
- ・素肌や衣服が濡れた状態でのご使用はお避けください。側地カバーのシミ、汚れや劣化の原因になります。
- ・図Bのギア部に手や足を入れたり、座ったり、飛び跳ねたりしないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
- ・図Cの状態、矢印の方向に荷重をかけないでください。破損の原因になります。



【背もたれの角度調節方法】



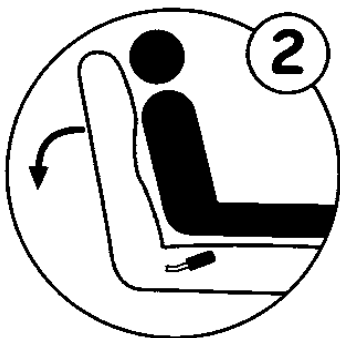
背もたれはレバー操作で座ったまま14段階にリクライニングできます。



1. レバーを図①のように引き上げると背もたれが起きあがります。
⑪～⑭段目が入りにくいときは、背もたれを手で起こしてください。

注意！

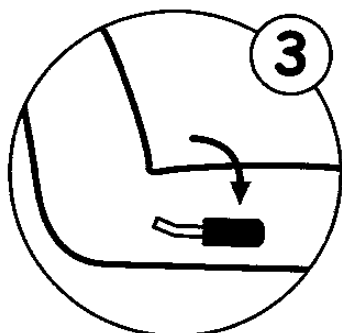
このとき、背もたれの起きあがる勢いにご注意ください。



2. レバーを上げた状態で、図②のように背もたれを背中で押して、お好みの角度にしてください。

注意！

背もたれを背中で押したままレバーを引き上げないでください。
ロック部分が破損し、背もたれの角度調節ができなくなります。



3. お好みの角度に調節できましたら、図③のようにレバーをしっかりと押し下げて、背もたれを固定してください。

注意！

レバーをしっかりと押し下げて、固定されたことを確認してください。
⑪～⑭段目が入りにくいときは、背もたれを手で起こしてください。

【お手入れ方法】

- ・著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤をご使用ください。
- ・シンナー、ベンジン、アルコール等の有機溶剤や、漂白剤、化学雑巾等は使用しないでください。
側地カバー劣化の原因になります。
- ・毛髪やホコリなどは粘着テープクリーナーで取ってください。

【品質表示】

外形寸法	幅540mm × 奥行620(620~1200)mm × 高さ700mm (座面高110mm)
構造部材	金属(鋼)
張り材	ポリエステル64% アクリル36%
クッション材	ウレタンフォーム
原産国	日本

テスト

当社の製品は品質検査を経て製作しておりますが、万が一不具合等ございましたら
お買い求めになった販売店にご連絡ください。

Yamazaki

製造元 株式会社ヤマザキ

〒350-0276 埼玉県坂戸市戸口 439-1

MEMO